

ぶどうの開花期前後の作業に係る講習会を実施しました

5月31日（水）、小布施町の生産者団体に対し、無核ぶどうの開花期前後の作業に係る講習会を実施しました。「シャインマスカット」に代表される無核ぶどうの需要が高まる中、近年は「シャインマスカット」の生産者が増加し、約40名の参加がありました。

今年は平年と比べて高温傾向で推移しているため、発芽、展葉、開花等のスピードが早まりました。ぶどうの生育ステージに合わせて、房切り、薬剤処理及び摘心作業等のタイミングを計画するとともに適期に作業を実施しなければならず、6月は労力が一番集中する時期になります。農業経験の浅い生産者の出席もあり、この時期に処理する薬剤は複数あって処理するタイミングも異なるため、特に薬剤処理についてわかりやすく重点的に説明を行いました。質疑応答も活発に行われ、受講生の熱心な様子が見られました。

なお、6月21日（水）にも摘粒作業と新梢管理に係る講習会を実施し、継続して作業に対する理解が深まるよう支援しています。

（地域第三係 木曾）



房切りのタイミングと長さについて説明する職員